

## 刊行にあたって

2023年春、こども家庭庁が設置され、「こどもまんなかの社会」の実現に向けた取り組みが動き出しました。子どもと家庭の福祉と健康の向上のために、私たち歯科医療者もこの大きな流れに貢献したいところです。

実際に子どもたちの口腔を守っているのは、子どもたちが通院している地域の一般開業医の先生方です。先生方は、子どもが多様性に溢れていることや、予測もつかない成長発育があるところに、やりがいや醍醐味を感じていらっしゃるのではないのでしょうか。しかし、臨床現場における子どもへの対応や保護者への説明は、そうした多様性や成長発育があるからこそ難しいという声も多く聞かれます。さらに、同じ処置であっても子どもの年齢によって治療方針が異なるのも悩ましいところです。

そこで本増刊号では、小児歯科診療を行ううえで疑問に感じやすい項目を Question として設定し、ポイントを絞った Answer を、乳歯列期、混合歯列期、永久歯列期の3つの成長発育段階に分けて解説し、子どもの発育段階に応じた知識を整理できるようにしました。

第1章では患児・保護者とのコミュニケーションを中心に、第2章では治療のベーシックを、第3章ではアドバンスとして、日常の臨床で活用しやすい順序と構成になっています。本増刊号に掲載した27の Questions への回答は、各分野のエキスパートの先生が担当しており、科学的根拠に基づいた最新の知見や情報が盛り込まれ、実際の症例を交えた解説をいただいています。How to に留まらず、執筆された先生方の診療に対するパッションはもちろん、温かい愛情に溢れた思いや考えを感じてほしいと思います。

多くの先生方の手と心が小児歯科医療に向かい、歯科医療のなかでも、「こどもが真にまんなか」になることを期待しています。未来を担う子どもたちの健全な口腔を育み、一人でも多くの子どもたちが輝く笑顔になれるよう、本増刊号を役立ててもらえれば幸甚です。

2023年6月

編集委員一同